

募集について 概要は以下の通りです。募集に関する詳細はホームページでご確認ください。

■ **受験資格** 次の要件を満たしていることが必要です。

看護師の免許を有すること

看護師の免許取得後、
実務経験を有すること

所属機関長の推薦を有すること

■ **出願手続き** 募集要項および出願調書等は、こちらからご確認ください。

URL ▶ <https://www.ho.chibau.ac.jp/chibauniv-resident/nurse/specifictraining/recruit.html>

千葉大学病院ホームページ ▶ 総合医療教育研修センターホームページ ▶ 看護師特定行為研修 ▶ 募集要項

■ **納付金**

①審査料(出願時) 10,000円

②共通科目の受講料 440,000円

③区分別科目の受講料

クリティカルケア・プログラム 528,000円

コンフォートケア・プログラム 284,000円

リカバリーケア・プログラム 487,000円

ロングタームケア・プログラム 325,000円

厚生労働省 教育訓練給付制度(一般教育訓練給付)の対象講座です。

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。

スマホ・タブレットは、こちらのQRコードから



受講料・募集要項



教育訓練給付制度
(一般教育訓練給付)

千葉市街を望む丘の上の病院です。

千葉大学の医学部、薬学部、看護学部がある、亥鼻(いのな)キャンパスに位置し、緑豊かな環境の中にあります。



亥鼻キャンパスMAP



アクセス

東京～千葉 約39分 (JR総武線快速利用)

JR千葉駅から 東口正面7番のバス停から「千葉大学病院」または、「千葉大学病院経由南矢作」行きに乗車、
「千葉大学病院」で下車。(約10分毎、所要時間15分)

お問い合わせ

千葉大学医学部附属病院 総務課 総合医療教育係
〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1
TEL:043-222-7171 (代表) FAX:043-224-3830
E-mail:byoin-kenshuu@office.chiba-u.jp



千葉大学病院ホームページ
<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/>
病院の最新情報はホームページをご覧ください。

千葉大学医学部附属病院

看護師 特定行為研修

これからの医療を支える



CHIBA UNIVERSITY
HOSPITAL
千葉大学病院





「特定行為」とは

診療の補助であって、実践的な理解力、思考力および判断力、高度かつ専門的な知識・技能が特に必要とされるものとして定められた38行為です。
特定行為研修は、特定行為の知識と技能を修得するための研修であり、基本的事項を学ぶ「共通科目」と専門的事項を学ぶ「区分別科目」の研修から構成されています。



研修の理念と目標

当院の研修では、地域医療の中で、的確な臨床判断能力と技術を持ち、医療専門職と協働しながら、患者の生命、生活の質向上に向けて活動できる実践能力の習得を目指します。



当院の研修の特徴



経験豊富な医師や看護師による万全な指導体制

多職種連携チームによる診療体制により、あらゆる視点から学ぶことができます。医学生や研修医とともに学ぶことで医学的視点を深め、改めて看護学的視点から捉えることができます。



日本最大規模を誇る訓練施設でトレーニング

クリニカル・スキルズ・センター（CCSC）では、多様なシミュレーターやモデルを活用し、実践に近い技能トレーニングやシミュレーションが行えます。



研修修了者へのアフターフォロー

研修修了後には、フォローアップ研修や連絡会を通して、それぞれの活躍をサポートします。また、地域医療機関や自治体と連携し、地域における特定行為の支援体制構築にも積極的に取り組んでいます。



大学院との連携

千葉大学大学院の博士前期課程には、特定行為研修受講者・修了者を対象とした特定看護学プログラムが開講されており、研修運営においても看護学研究院の教員と連携協力しています。



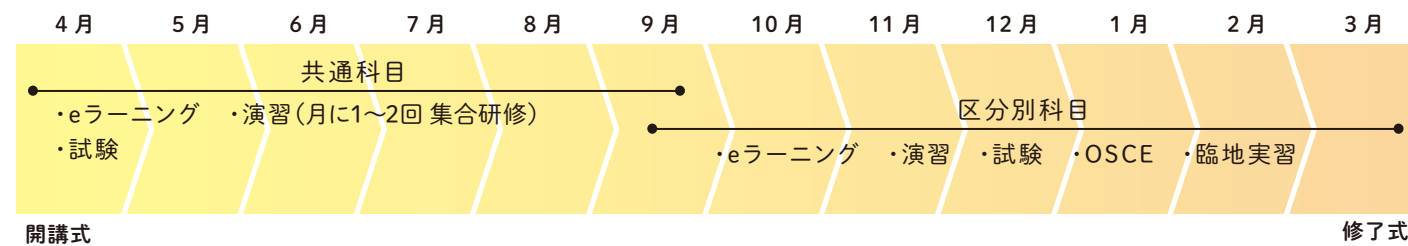
千葉大学大学院
紹介動画

千葉大学大学院看護学研究院のホームページで大学院の紹介動画を公開しています。
<https://www.n.chiba-u.jp/outline/movie.html>



年間スケジュール

共通科目を約半年間受講します。主にeラーニングでの自己学習と演習、数回の集合研修により働きながらの受講が可能です。講義・演習・試験を修了後、各々の区分別科目研修にすすみます。



プログラム

当院では21区分38行為すべての特定行為研修を開講しています。また患者さんの回復過程に沿って、21の特定行為区分を4つに分類した独自のプログラムがあります。※単体科目での受講を希望されている方はご相談ください。

クリティカルケア

- ・循環器関連
- ・心嚢ドレーン管理関連
- ・動脈血液ガス分析関連
- ・透析管理関連
- ・感染に係る薬剤投与関連
- ・循環動態に係る薬剤投与関連

コンフォートケア

- ・呼吸器（気道確保に係るもの）関連
- ・栄養及び水分に係る薬剤投与関連
- ・術後疼痛管理関連
- ・精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

リカバリーケア

- ・呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
- ・胸腔ドレーン管理関連
- ・腹腔ドレーン管理関連
- ・栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連
- ・創部ドレーン管理関連
- ・血糖コントロールに係る薬剤投与関連
- ・皮膚損傷に係る薬剤投与関連

ロングタームケア

- ・呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
- ・ろう孔管理関連
- ・栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連
- ・創傷管理関連



Interview 研修生の声



皮膚・排泄ケア認定看護師 （医療法人社団創進会 みつわ台総合病院）

研修を受講して、認定看護師としての専門性に病態判断や臨床推論など医師の思考過程の学びが加わり、看護の視点が広がりました。さらに、急性期から回復期まで、病状・病期の異なる患者を多角的に捉える力や実践力が向上したと感じています。



大学院博士前期課程在学中 （八戸市立市民病院）

大学院に在籍しながら、特定行為研修を受講しています。研修では、自施設とは違った環境で他の研修生とも意見交換し合えるため、自分に足りない部分を見つめ直す機会になりました。2年間で修士の学位と特定行為研修21区分修了を目指します。



特定看護師3年目 （千葉大学医学部附属病院）

特定看護師として働きながら、複数年にわたり特定行為研修を受講しています。研修中は、患者さんの全体像をとらえる上で、自分の知識のなさを痛感することも多く、さらに他の分野での知識の必要性を感じます。全21区分修了を目標に、次年度も受講予定です。